

HitachiSystems

情報・知識共有基盤「InWeave」の ご紹介

2008年12月18日

株式会社 日立システムアンドサービス

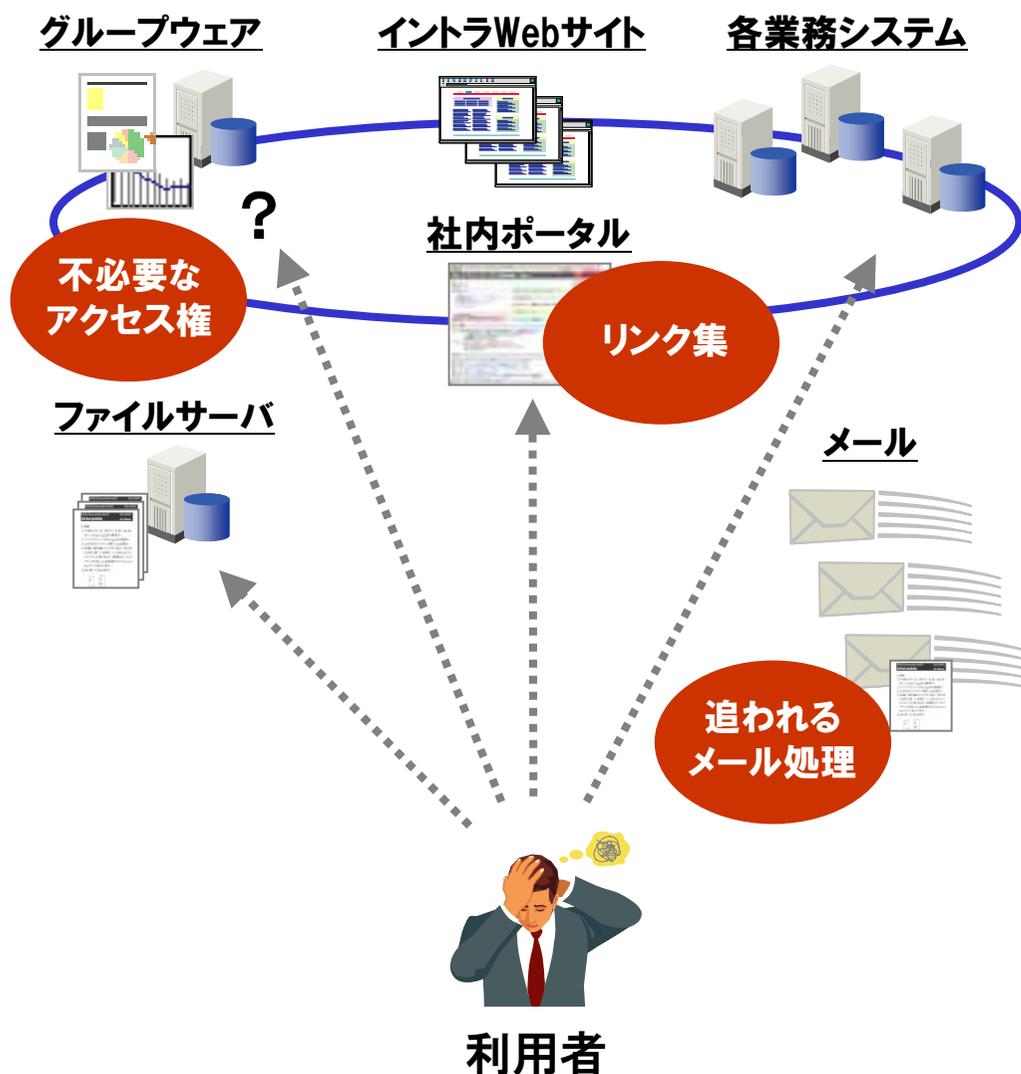
西原 宏

Contents

1. InWeaveの目的
2. 日立システムが考える情報・知識活用基盤
3. InWeaveのご紹介
4. ロードマップ

1. InWeaveの目的

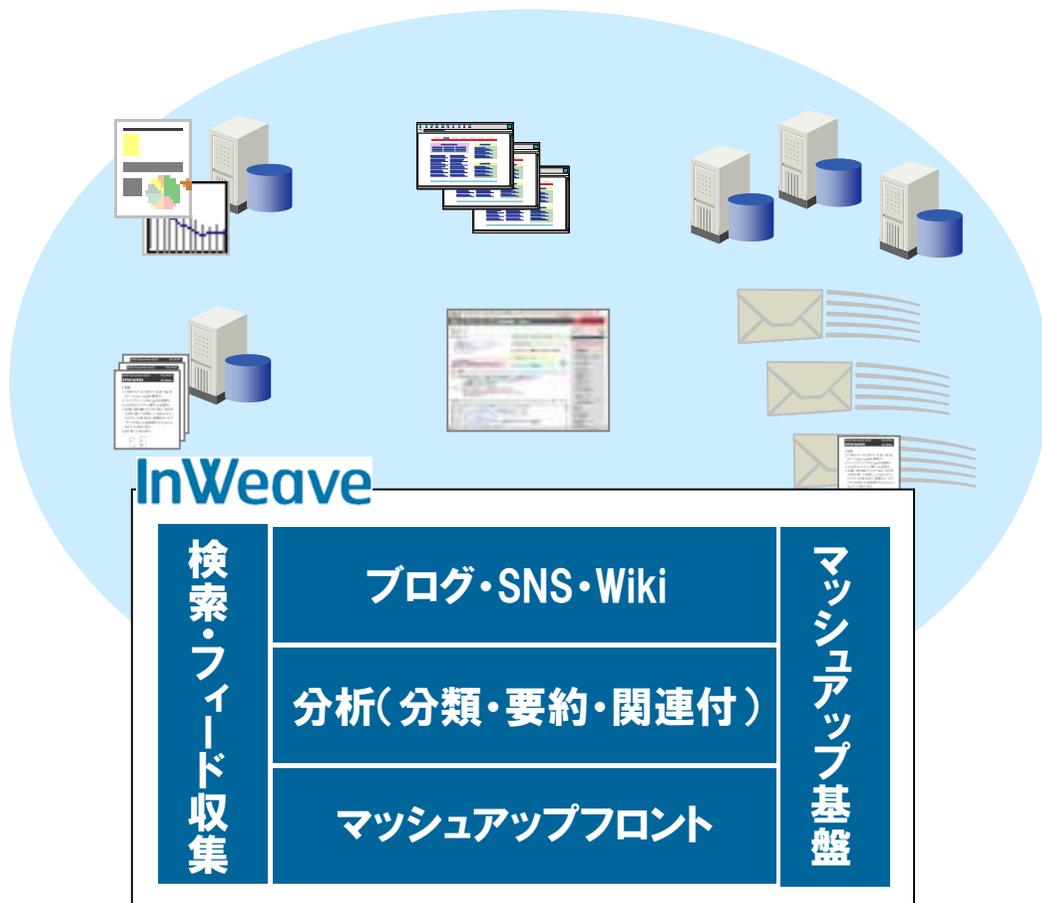
1-1 現状の情報活用における課題



- 利用者から各システムに直接アクセスすることで、はじめて情報を取得するスタイル
- 求める情報の所在はユーザの経験と検索スキルに依存(利用者のスキルによって情報取得のレベルに差が発生)
新人・転属者には厳しい環境であり、職場のOJT教育も負荷大
- 各コンテンツの管理者(登録者)の異動や退職により、有益コンテンツを本来利用すべき人がアクセスできない状態も
- ランダムに届くメールには、重要・不要がタイトルで判断できず、処理に費やす時間・労力大。情報のローカライズ化、パーソナル化。

■有益な情報資産が利用されない
■生産性の低下

1-2 InWeaveが目指す情報活用環境

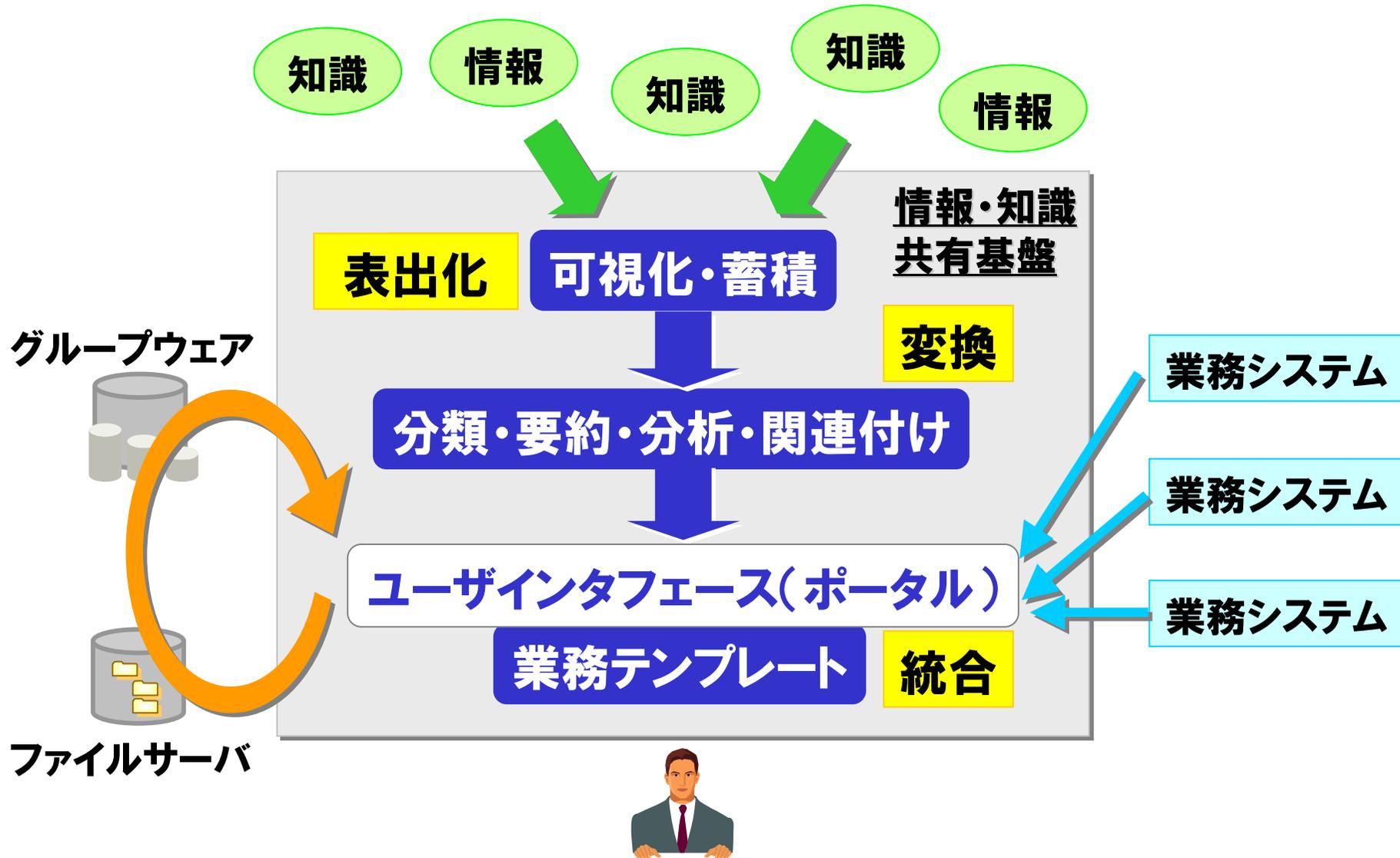


- 情報取得は所在を意識することなく、ひとつのポータルにアクセスすることで、業務システムの利用ができ、必要なコンテンツの到着を取得することが可能。また統合検索も可能
- ユーザ個々に有益な情報をお薦め・注目語として自動表示
また、コンテンツごとに関連する記事を一覧で表示
- コンテンツはテーマ別に分類し、キーワード別に目的の情報を取得
- 利用者毎に適したポータル画面の提供

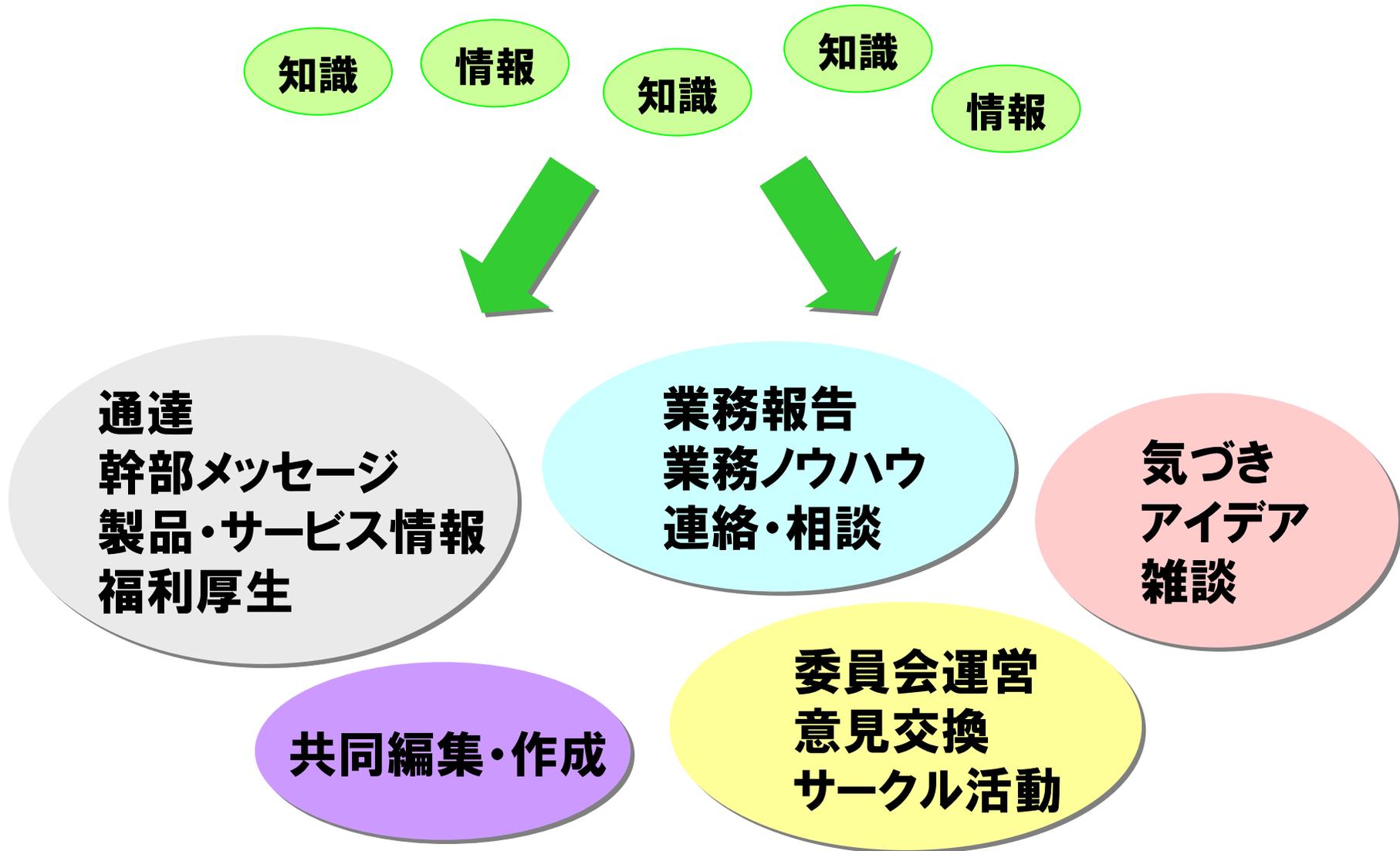
- 有益な情報資産の活用を促進
- 「気づき」の誘発
- 生産性の向上

2. 日立システムが考える 情報・知識共有基盤

2-1 情報・知識共有基盤イメージ



2-2 企業内に存在する様々な知識・情報



2-3 様々な知識・情報を可視化・蓄積する(1)

通達
幹部メッセージ
製品・サービス情報
福利厚生

これを実現するツール

ブログ機能

特徴・要件	必要な機能
伝達履歴を残す	アーカイブ
ユーザの閲覧履歴の管理を行なう	ログ管理(足あと)
内容により公開先を制御する	公開設定
テーマ別に必要な情報を参照可能	カテゴリー、エントリータグ
ユーザが質問・意見を書き込む	コメント
関連情報のリンク	トラックバック、ハイパーリンク

2-4 様々な知識・情報を可視化・蓄積する(2)

業務報告
業務ノウハウ
連絡・相談

これを実現するツール

ブログ機能

特徴・要件	必要な機能
内容により閲覧者・投稿者を限定する	投稿・閲覧権限設定
メンバーが報告内容へ質問・回答を行なう	コメント
メンバーのやり取りを一元管理する	記事の一覧表示
コンテンツをテーマ別に分類する	カテゴリ
コンテンツのキーワード分類を行なう	エントリータグ
関連情報を一元管理する	トラックバック

2-5 様々な知識・情報を可視化・蓄積する(3)

委員会運営
意見交換
サークル活動

これを実現するツール

コミュニティ機能

特徴・要件	必要な機能
メンバーに参加意思を確認する	招待機能
興味のあるテーマにユーザから参加可能	参加申請機能
テーマ別に意見交換の場を設定	フォーラム
コンテンツをテーマ・キーワード別に分類する	カテゴリー、エントリータグ
参加メンバーの確認	メンバー表示、プロフィール表示

2-6 様々な知識・情報を可視化・蓄積する(4)

気づき
アイデア
雑談

これを実現するツール

日記機能

特徴・要件	必要な機能
個人的な意見・考えを発信する	日記
公開先を制御する(全公開・友達のみ)	公開設定
コンテンツをテーマ別に分類する	エントリータグ
日記を通じて交流を図る	コメント
発信者のプロフィールを確認する	プロフィール表示

2-7 様々な知識・情報を可視化・蓄積する(5)

共同編集・作成

これを実現するツール

wiki機能

特徴・要件	必要な機能
複数のメンバーで同一記事を編集する	共同編集
特定のメンバーに編集権限を付与する	権限設定
メンバーの編集履歴を管理する	履歴管理
関連ファイルをセットで管理する	添付ファイル
コンテンツを一覧で表示	記事の一覧表示

2-8 つまり

企業内に存在する様々な知識・情報を可視化・蓄積するには、ブログ・SNS(コミュニティ・日記)・wikiの3つの機能が必要

ブログ機能

SNS機能

wiki機能

これらの機能を統合した環境（ユーザ管理を統合）

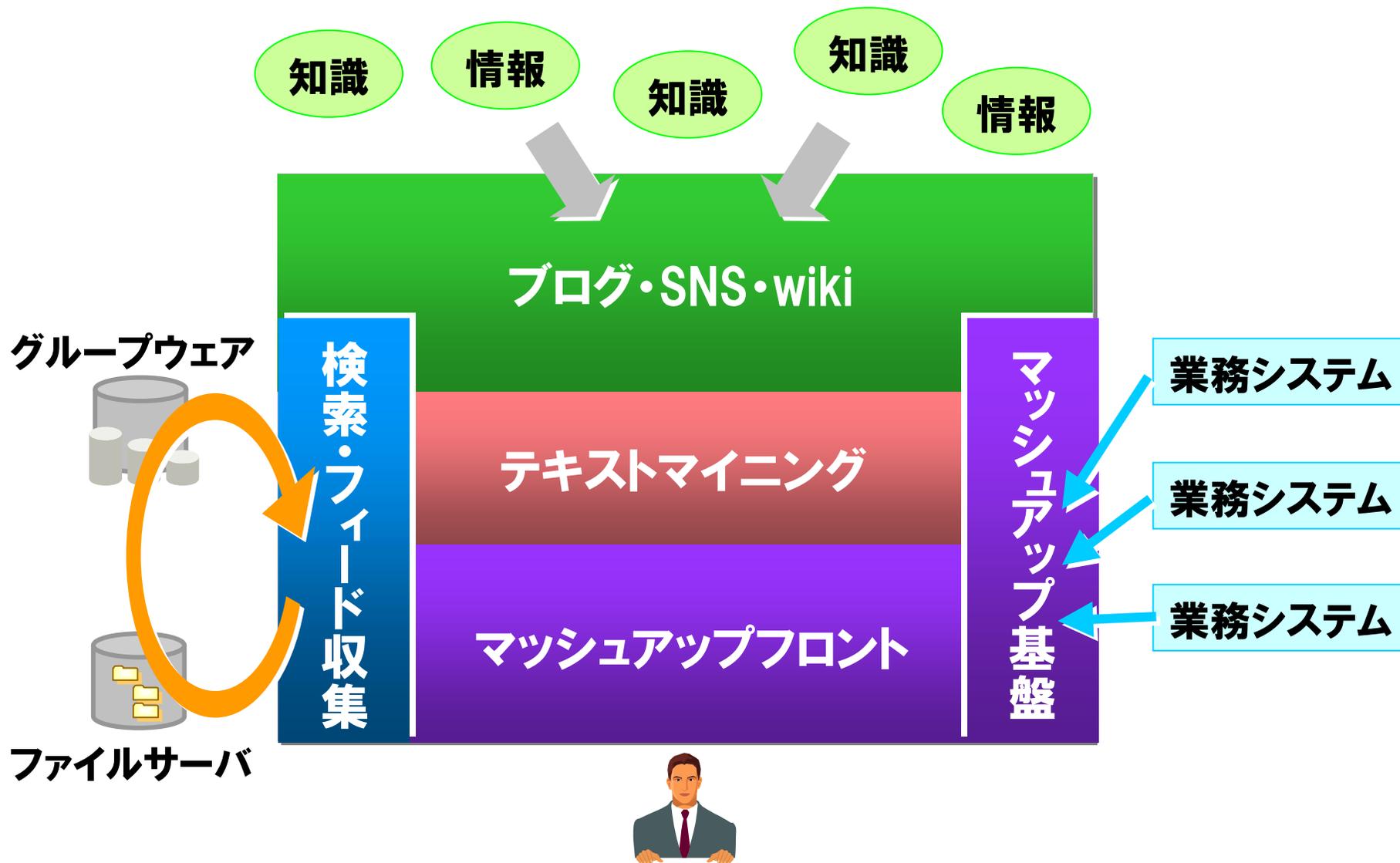
さらに

蓄積した情報を分類・要約・分析・関連付けを行い
知識活用を促進

さらに

既存のシステムと連携し、個人の知識創造の支援と
生産性を向上

2-9 実現する技術



3. InWeaveのご紹介

3-1 事業のコンセプト

- InWeaveはWeb2.0技術を用い業務知識やノウハウを共有・利用することで、企業の知的生産性向上を支援する企業向け製品
- 製品は自社開発し、Web・全文検索など得意技術で差別化を図る
- 製品を基にソリューション・SI事業を展開

InWeave

「Information（情報）、Intelligence（知性）」と
「Weave（織る）」とを組み合わせた造語。「企業内の
情報やシステムを、“知の織物”を織るかのように、
結び、広げていく」という思いを込めています

InWeaveは日立システムの商標です

3-2 機能概要

Basic Editionは、ブログ、SNS、wikiを利用した、
情報共有・コミュニケーション機能を提供

■ **ブログ**(組織によるアクセス権設定、カテゴリ分類)

■ **SNS**(日記、コミュニティ)

■ **wiki**(複数人による記事共同編集、アンケート)

■ **検索**(記事とコメントの検索)

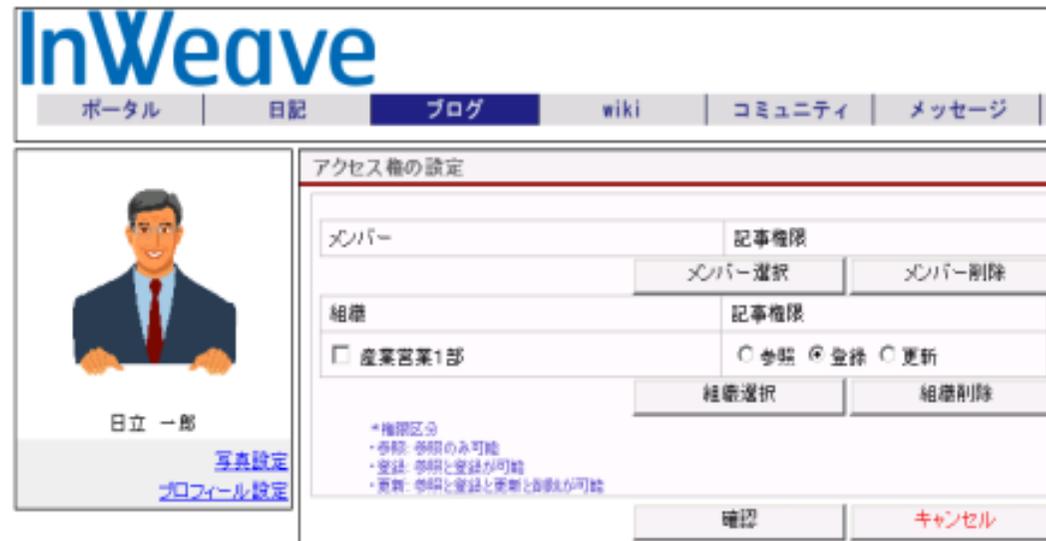
- 各種新着情報表示
- メンバ毎の所属組織や役職、写真の登録
- リッチテキスト記事編集
- 記事への写真・ファイル添付
- あしあと(閲覧ユーザ履歴)
- メッセージ
- RSS配信、トラックバック
- 各種ランキング(アクセス数や参加人数など)



3-3 機能概要(2)

■ブログ機能の特徴 (一般的なブログ機能に加え、業務利用を意識した以下の機能を提供)

- 各ブログでは、以下の権限を、**組織単位、個人単位**で設定可能
 - ・記事の参照、登録、更新
 - ・コメントの参照、登録、更新
- 「**兼務**」にも対応し、各メンバは**複数の組織に所属可能**



- 記事を、特定の相手に必ず読んでもらいたい場合には、「**投稿通知機能**」により、**メールで通知可能**

記事参照者でなく、ブログ管理者が、強制的にメール通知するように設定することができる



3-4 表示形式

営業1部 日報



担当者
報告

旭川化学訪問報告 2008/11/10

顧客の導入目的は以下の通りです。

- ・技術情報の蓄積と共有DB化
- ・膨大な図面情報を統一管理し、整理された情報として共有

課題は、既存のグループウェアDBの肥大化と検索であり、文書の共有と活用が困難。あらためて、文書管理システムを提案予定です。

添付ファイル: [Teiansyo081110 .pdf](#)

エントリー投稿者: 営業1部 高橋さん
タグ: [文書管理](#) [引き合い](#) [高橋](#)

報告ありがとうございます。
お客様のニーズは文書管理というよりも「wiki」のような共同編集による文書のDB化の方が・・・

By 営業1部 神田さん 2008/10/11

[返信]
wikiであれば弊社で「InWeave」という新製品がリリースされますが、こちらにWiki機能があり・・・

By 営業1部 横山さん 2008/10/12



上司
アドバイス



先輩
サポート

記事に書かれていない事は、コメントで質問を行い、不明点を明確化

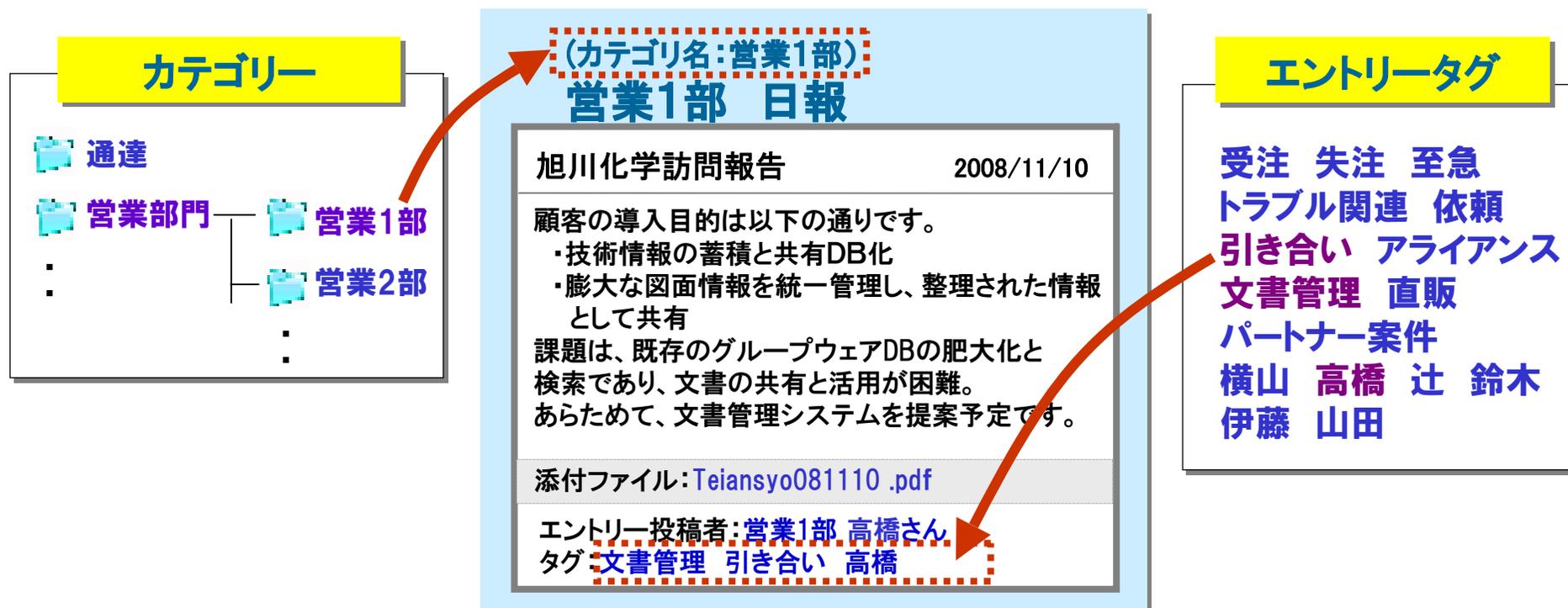
コメントのやり取りにより、報告者やメンバーのナレッジ・ノウハウが見える化

コメントのやり取りもそのままコンテンツとして公開・共有・蓄積
さらに、記事はカテゴリ・タグで分類され、テーマ別に抽出しが可能

つまり

個人の知識が見える化・蓄積

3-5 記事の分類



「カテゴリ」から目的のブログにアクセス

ブログ内の「エントリータグ」から記事を見たいテーマ別に分類し、一覧で閲覧

つまり

目的のコンテンツを容易に取り出すことが可能

3-6 全文検索

検索対象・条件絞込み

検索	
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 日記 <input checked="" type="checkbox"/> ブログ <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ <input checked="" type="checkbox"/> Wiki
キーワード	問題 課題 トラブル 結合条件: <input type="radio"/> AND <input checked="" type="radio"/> OR 対象: <input checked="" type="checkbox"/> 記事タイトル <input checked="" type="checkbox"/> 記事本文 <input checked="" type="checkbox"/> 記事コメント
タグ	<input type="text"/> 結合条件: <input checked="" type="radio"/> AND <input type="radio"/> OR
期間	20081001 ~ 20081010 <small>* YYYYMMDDの形式で指定してください。</small>
投稿者	<input type="text"/> <input type="radio"/> 完全一致 <input checked="" type="radio"/> 部分一致
投稿者所属組織	<input type="text"/> <input checked="" type="radio"/> 下位組織を含む <input type="radio"/> 下位組織を含まない
コメント投稿者	<input type="text"/> <input type="radio"/> 完全一致 <input checked="" type="radio"/> 部分一致
	<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="クリア"/>

検索結果



キーワードで記事・コメントを一括検索

エントリータグ、公開日、記事投稿者、コメント投稿者、投稿者の所属組織で絞込みも可能

検索結果はアクセス権のある記事を対象とし、アクセス権の無い記事はヒットしないセキュア検索

つまり

様々なコンテンツを一括検索することで、情報活用とセキュリティを同時に実現

3-7 公開設定

権限設定

アクセス権設定

メンバー	記事権限	コメント権限
	メンバーの選択	メンバーの削除
組織	記事権限	コメント権限
<input type="checkbox"/> 産業企画部	<input checked="" type="radio"/> 参照 <input type="radio"/> 登録 <input type="radio"/> 更新	<input type="radio"/> 参照 <input checked="" type="radio"/> 登録 <input type="radio"/> 更新
<input type="checkbox"/> 産業営業本部	<input checked="" type="radio"/> 参照 <input type="radio"/> 登録 <input type="radio"/> 更新	<input type="radio"/> 参照 <input checked="" type="radio"/> 登録 <input type="radio"/> 更新
<input type="checkbox"/> 産業営業1部	<input type="radio"/> 参照 <input checked="" type="radio"/> 登録 <input type="radio"/> 更新	<input type="radio"/> 参照 <input checked="" type="radio"/> 登録 <input type="radio"/> 更新
<input type="checkbox"/> 産業営業2部	<input checked="" type="radio"/> 参照 <input type="radio"/> 登録 <input type="radio"/> 更新	<input type="radio"/> 参照 <input checked="" type="radio"/> 登録 <input type="radio"/> 更新
	組織の選択	組織の削除

* 権限区分
 ・参照: 参照のみ可能
 ・登録: 参照と登録が可能
 ・更新: 参照と登録と更新と削除が可能

アクセス権の確認 キャンセル

各ブログ・コミュニティごとに投稿権限・参照権限を設定することにより、業務・情報の公開制限が可能

アクセス権は「部署」による一括設定と「個人」ごとの設定が可能
 また、投稿権限は「参照のみ」、「記事投稿」、「記事更新」の権限設定が可能

つまり

アクセス権を変更することで
 人事異動や組織変更にも
 ナレッジは組織内に蓄積

3-8 関連記事のリンク(トラックバック)

(カテゴリ名:営業1部)
営業1部 日報

旭川化学訪問報告 2008/11/10

顧客の導入目的は以下の通りです。
・技術情報の蓄積と共有DB化
・膨大な図面情報を統一管理し、整理された情報として共有
課題は、既存のグループウェアDBの肥大化と検索であり、文書の共有と活用が困難。
あらためて、文書管理システムを提案予定です。

添付ファイル:[Teiansyo081110 .pdf](#)

エントリー投稿者:営業1部 高橋さん
タグ:文書管理 引き合い 高橋

セミナー報告 from InWeave拡販情報
<p>トラックバック送信先:<a href="viewEntry

トラックバック元

トラックバック先

(カテゴリ名:ソフト拡販PJ)
InWeave拡販情報

機能紹介 2008/10/31

トラックバック送信先:<http://10.202.186.65>

InWeaveの特徴は以下の機能になります。
●ブログ機能
●SNS機能
●wiki機能
これらの機能は...

エントリー投稿者:ソフト販売推進部 中野さん

リンク

関連する記事同士で相互リンクを張ることが可能

例:関連プロジェクト、関連報告、補足情報、関連製品、
関連技術、関連ノウハウ etc

つまり

関連情報を一括で管理

3-9 プロフィール閲覧(Know-Who)

営業1部 日報

旭川化学訪問報告 2008/11/10

顧客の導入目的は以下の通りです。

- ・技術情報の蓄積と共有DB化
- ・膨大な図面情報を統一管理し、整理された情報として共有

課題は、既存のグループウェアDBの肥大化と検索であり、文書の共有と活用が困難。あらためて、文書管理システムを提案予定です。

添付ファイル: [Teiansyo081110 .pd](#)

エントリー投稿者: **営業1部 高橋さん**
タグ: [文書管理](#) [引き合い](#) [高橋](#)

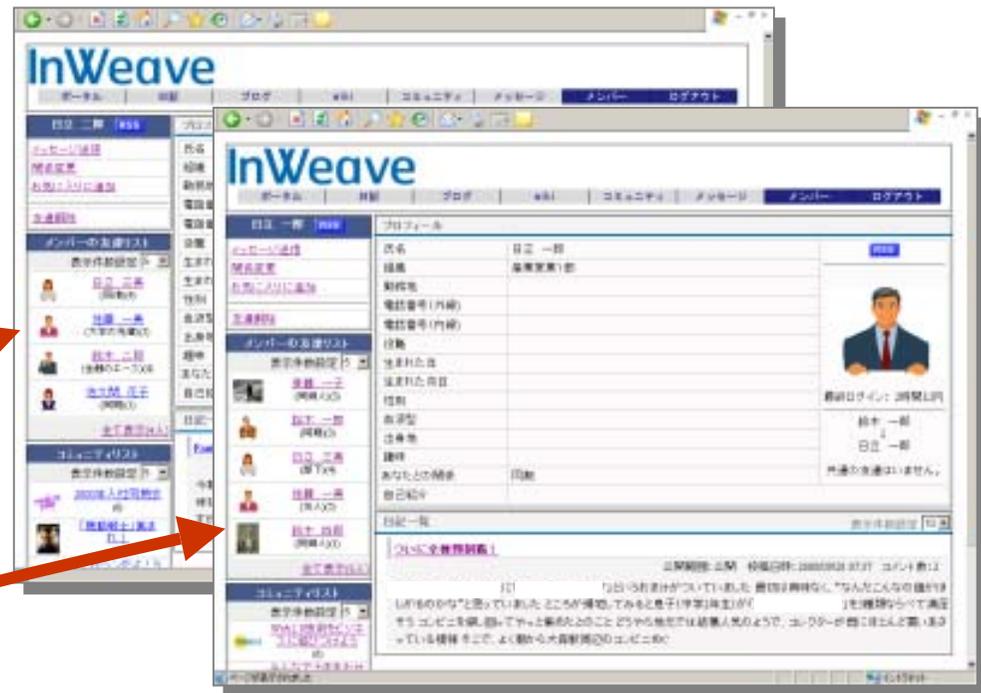
報告ありがとう。
お客様のニーズは文書管理というよりも「wiki」のような共同編集による文書のDB化の方が...

By **営業1部 神田さん** 2008/10/11

[返信]

Wikiであれば弊社で「InWeave」という新製品がリリースされますが、こちらにwiki機能があり...

By **営業1部 横山さん** 2008/10/12



参加コミュニティや日記、交流関係を一覧可能

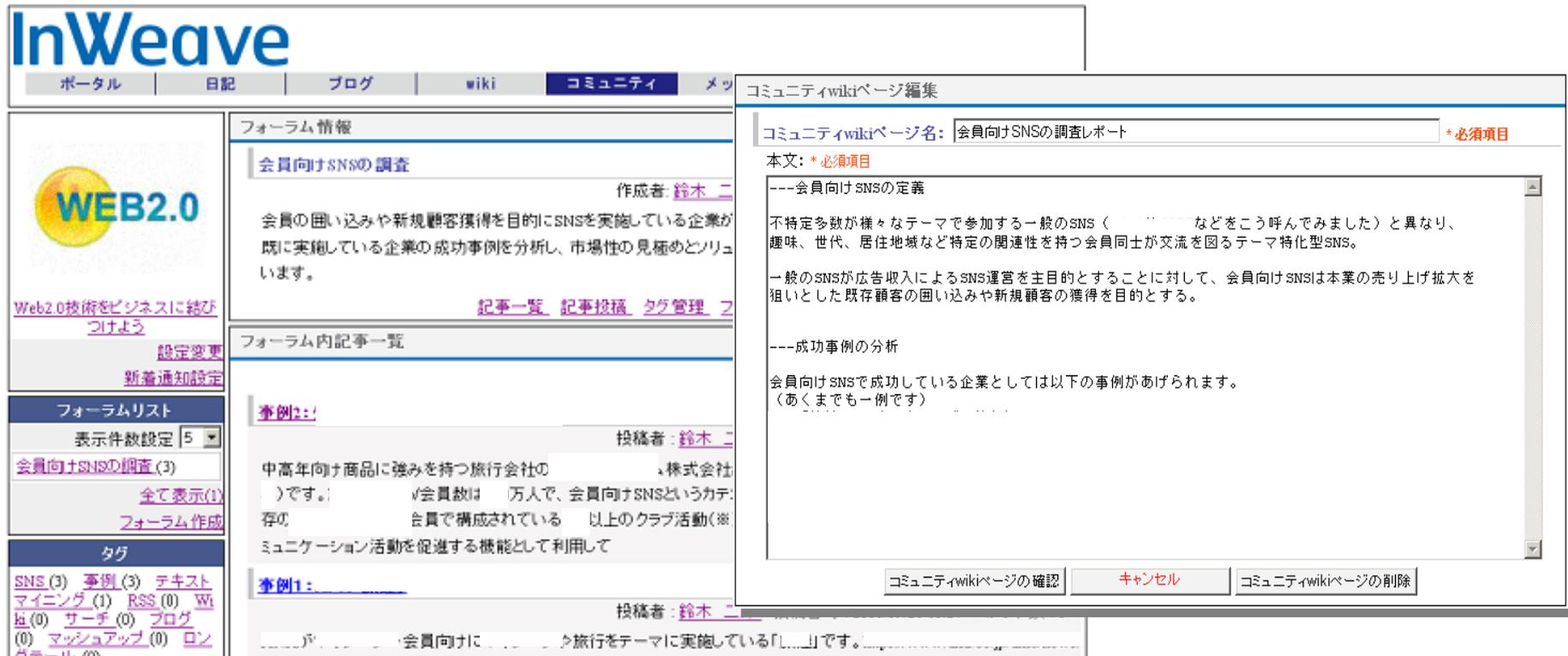
つまり

人となりやKnow-Whoを知ることが可能

3-10 SNS機能の特徴

(一般的なコミュニティ/日記機能に加え、以下の機能を提供)

コミュニティメンバーによる「ディスカッション → レポート化」の流れを想定し、コミュニティ内にメンバーが共同編集を行うことが可能なwiki機能を提供



3-11 wiki機能の特徴

wikiでは、一般的な wiki構文による文書の共同編集に加え、「アンケート機能」としてアンケートを作成し、利用者の投票、集計を行なう機能を提供

InWeave

ポータル | 日記 | ブログ | wiki | **コミュニティ** | メッセージ

社内SNSに関するアンケート

Q1. どのくらい利用していますか？

選択肢	投票数	投票
毎日利用している	2	投票
1週間に1度は利用している	2	投票
1ヶ月に1度は利用している	0	投票

Q2. 利用して感じたメリットは何ですか？

選択肢	投票数	投票
社内に仕事以外の知り合いができた	4	投票
組織やチームの情報共有が効率化した	1	投票
メリットを感じない	0	投票

Q3. 今後どのようなことに活用したいですか？

3-12 検索機能の特徴

日記、ブログ、wiki、コミュニティの検索では、**高速で異表記を考慮した検索機能**を提供

さらに、詳細検索では、**対象範囲**を指定したり、**期間、投稿者、組織**などを指定して検索することも可能

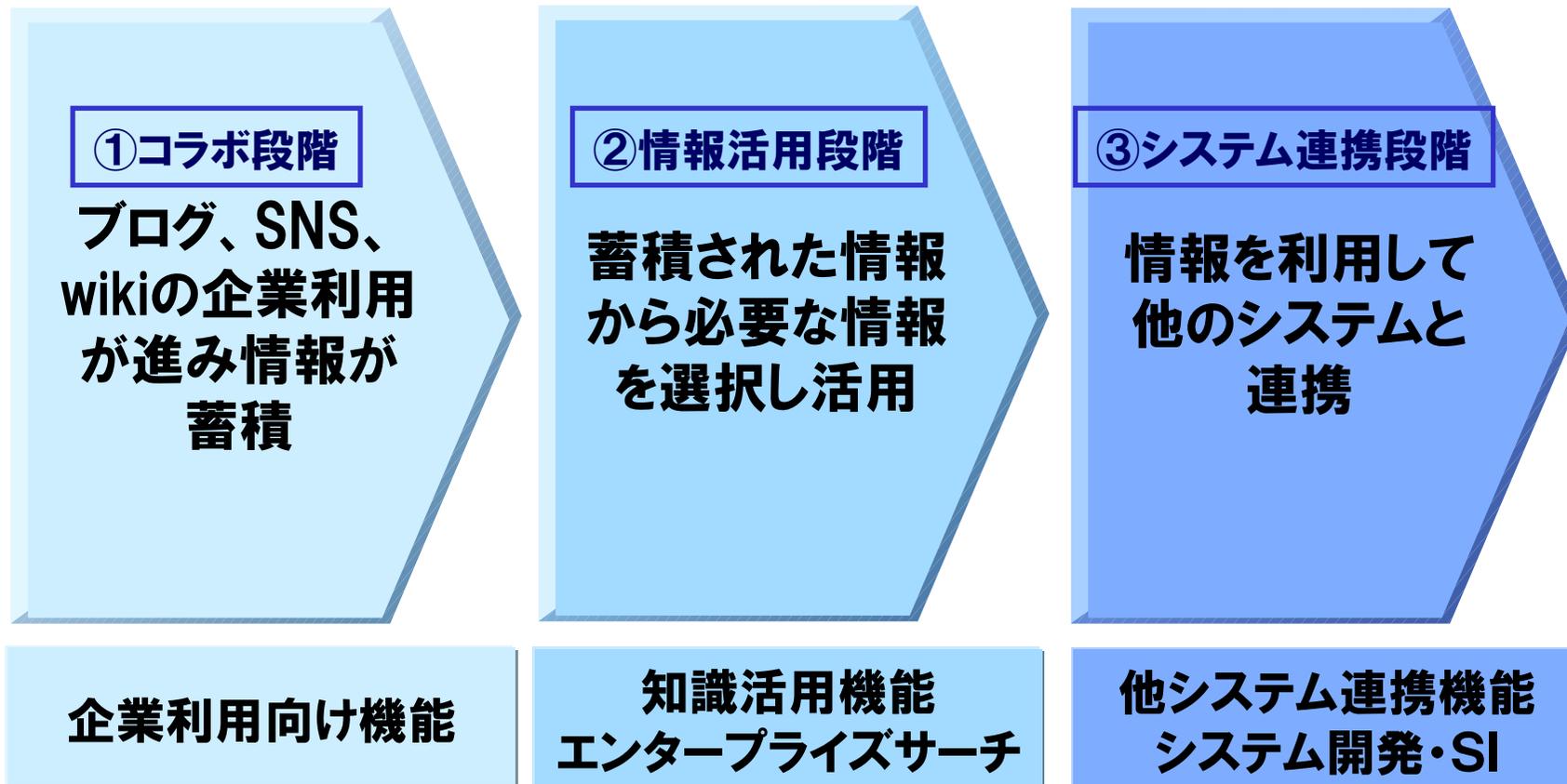


検索	
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 日記 <input checked="" type="checkbox"/> ブログ <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ <input checked="" type="checkbox"/> Wiki
キーワード	<input type="text"/> 結合条件: <input checked="" type="radio"/> AND <input type="radio"/> OR 対象: <input checked="" type="checkbox"/> 記事タイトル <input checked="" type="checkbox"/> 記事本文 <input checked="" type="checkbox"/> 記事コメント
タグ	<input type="text"/> 結合条件: <input checked="" type="radio"/> AND <input type="radio"/> OR
期間	<input type="text"/> ~ <input type="text"/> <small>*YYYYMMDDの形式で指定してください。</small>
投稿者	<input type="text"/> <input type="radio"/> 完全一致 <input checked="" type="radio"/> 部分一致
投稿者所属組織	<input type="text"/> <input checked="" type="radio"/> 下位組織を含む <input type="radio"/> 下位組織を含まない
コメント投稿者	<input type="text"/> <input type="radio"/> 完全一致 <input checked="" type="radio"/> 部分一致
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="クリア"/>	

4. ロードマップ

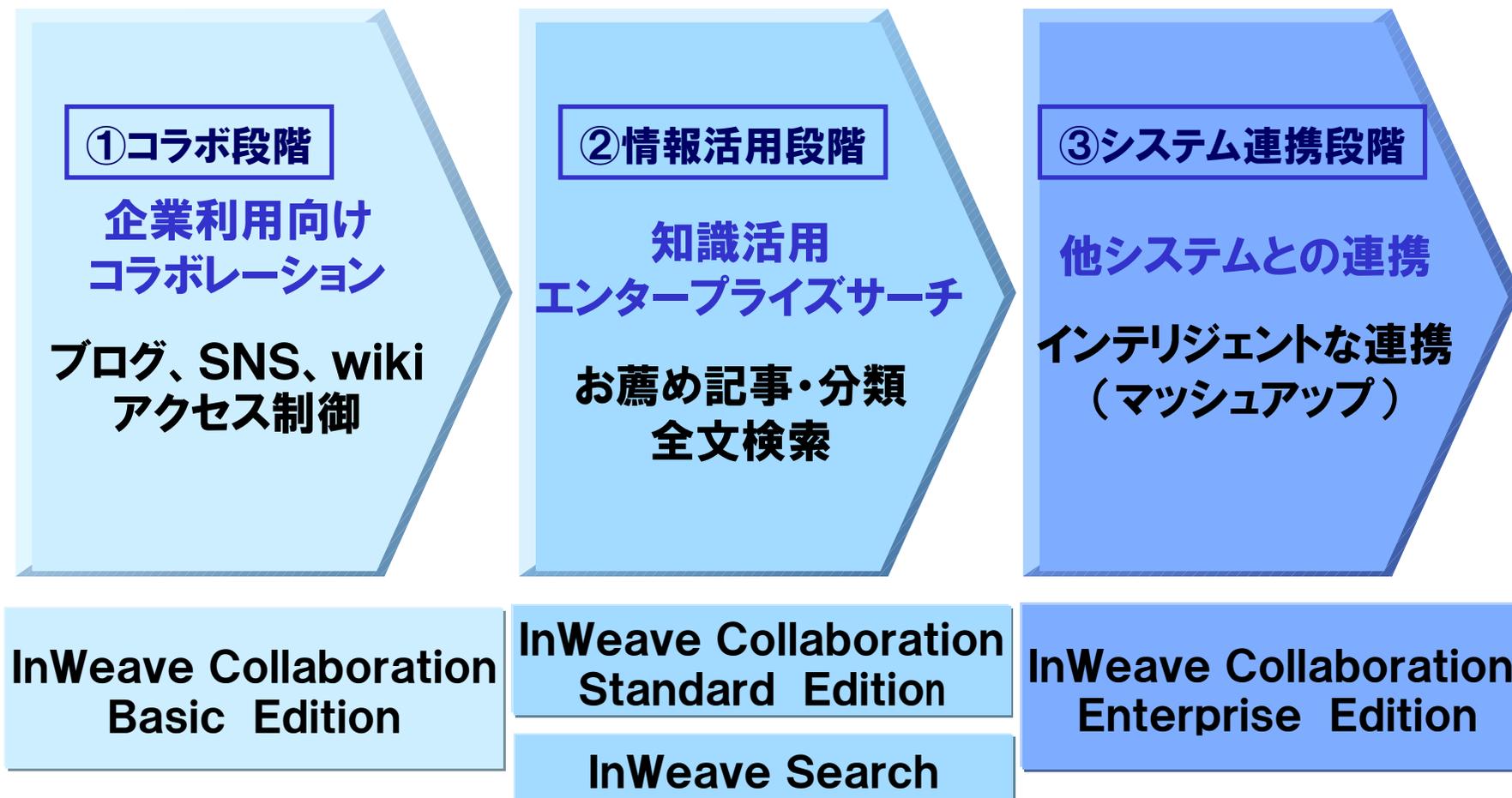
4-1 当社が考えるWeb2.0技術活用動向

- コラボレーションが始まり情報が蓄積される
- 蓄積された情報を選択・整理して知識として活用する
- 情報を利用して他システムと連携する



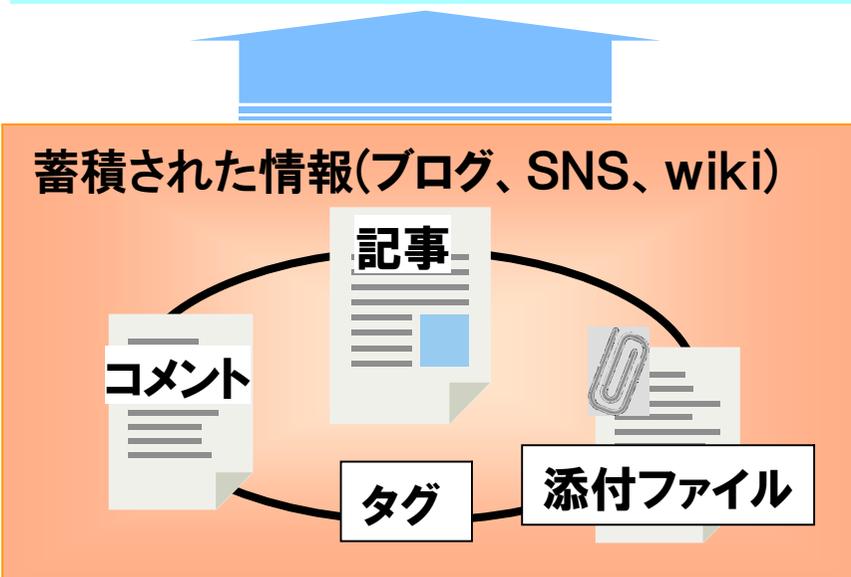
4-2 活用度に応じた製品提供

- 当社が考える企業でのWeb2.0技術活用動向に沿った製品提供
- 将来のシステムの発展に対応



4-3 蓄積された情報を知識として活用

- お薦め・関連記事などで”気づき”により知的生産性向上を支援
(InWeave Collaboration / Standard Edition)

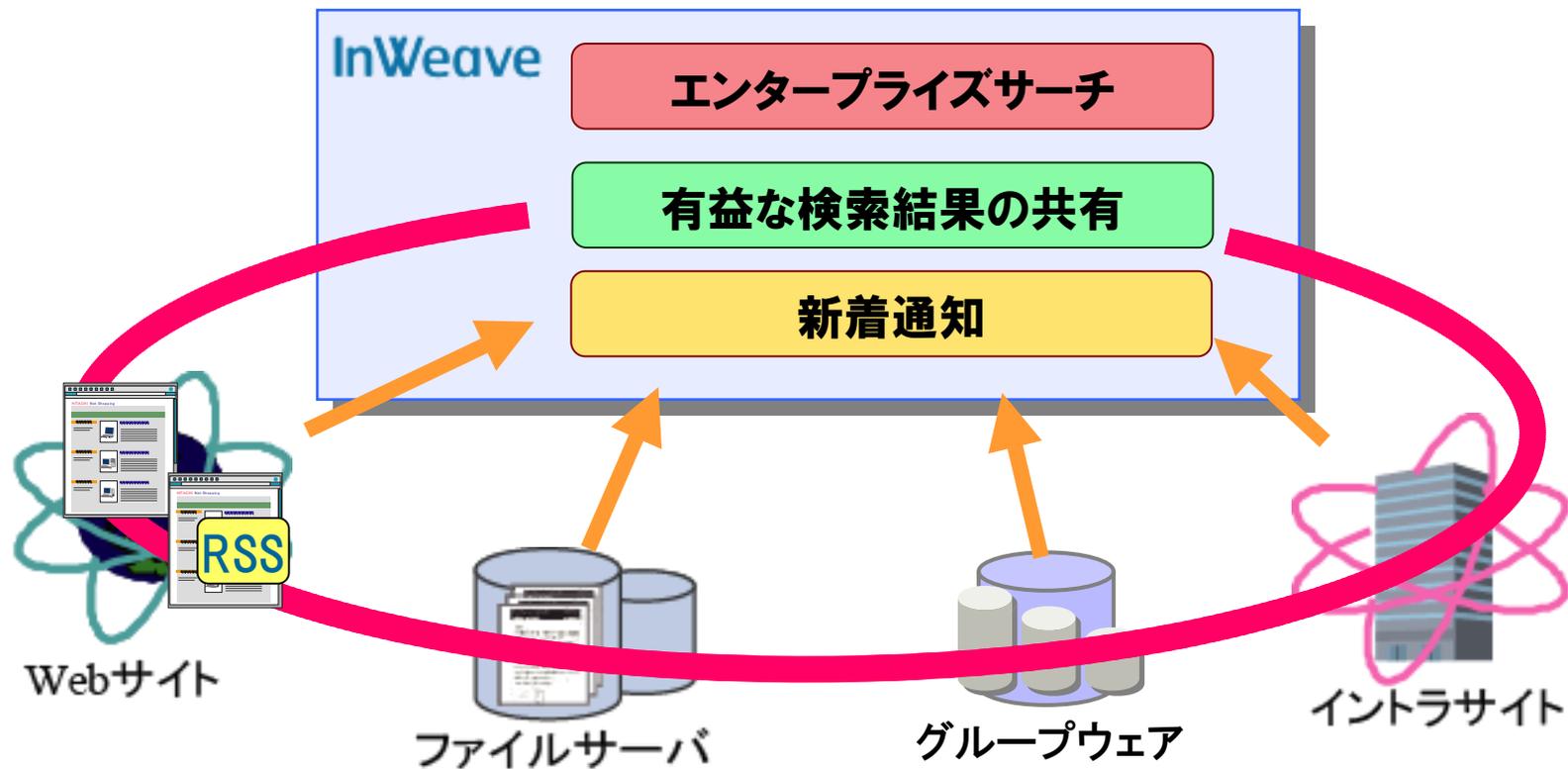


- 利用者にあったお薦め記事、注目語を表示
- 利用者自身の”**気づき**”を促進

当社の知識ソリューション
とも連携

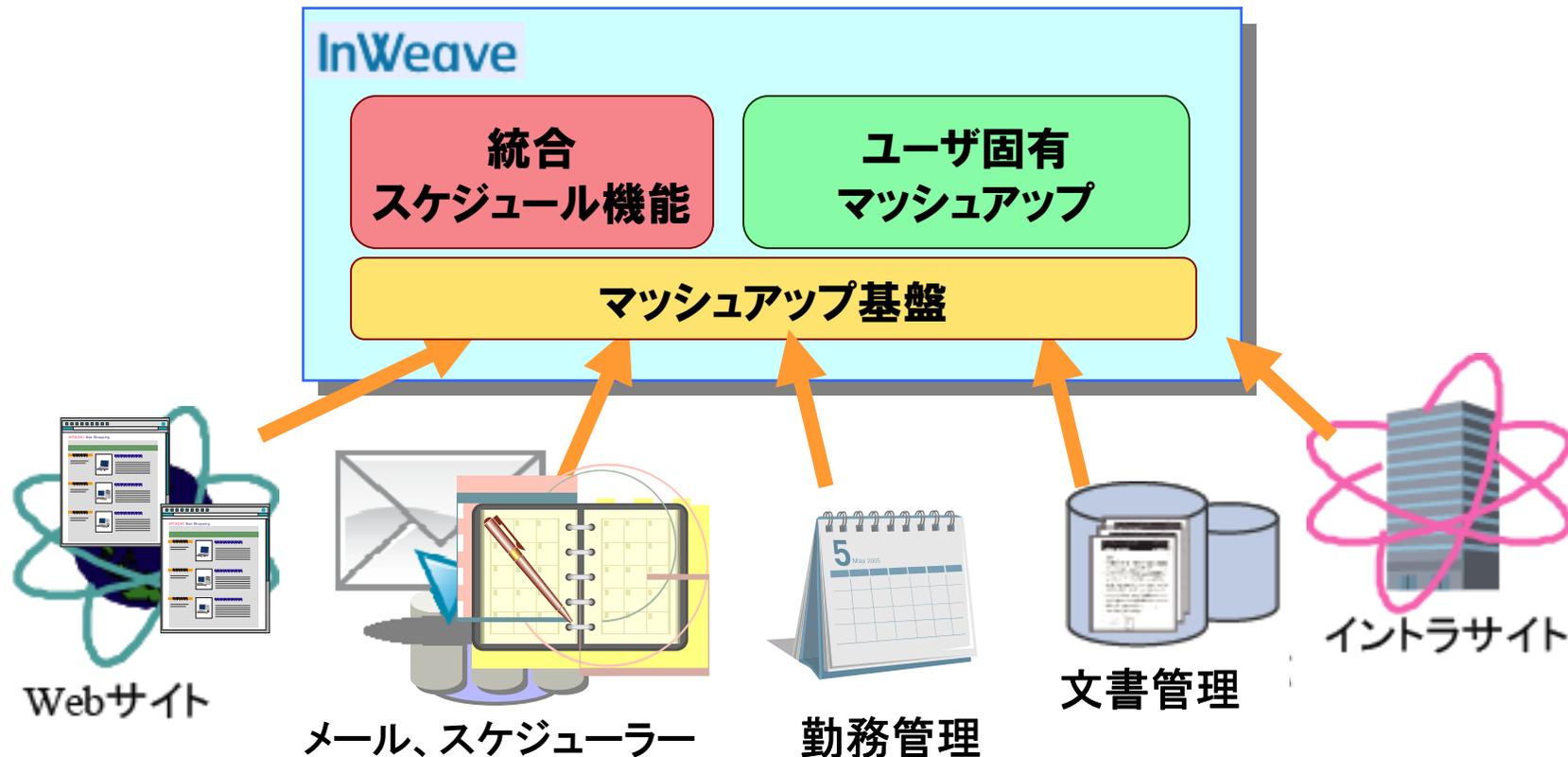
4-4 エンタープライズサーチ

- エンタープライズサーチで社内の情報を一括して検索
- 見つけた有益な検索結果を共有し活用(ソーシャルブックマーク)
- 新着通知で情報をタイムリーに把握
(InWeave Search)



4-5 マッシュアップ

- InWeaveを個人ポータルとし、全ての業務の入り口とする
- 各社内業務システムとの連携により社内情報を便利に利用
- よく使う業務ツールを、統合スケジュール機能に連携集約
- ユーザ固有の業務マッシュアップを作り込み
(InWeave Collaboration / Enterprise Edition)



ご清聴ありがとうございました

HitachiSystems